

ほしみ高等学園を受検するにあたって



令和3年 4月

北海道星置養護学校ほしみ高等学園

1 はじめに



ー 本校は、卒業後の社会自立・参加を目指す、普通科コース制の学校です ー

北海道星置養護学校ほしみ高等学園は、星置校舎の狭隘化解消のために、平成26年4月に旧北海道札幌稲西高等学校校舎へ校舎を移転し、分校として開校した学校です。

道内の特別支援学校で初めて「普通科コース制」を導入し、卒業後の地域生活（仕事・暮らし等）に必要な力の育成を図ります。

(1) 「単置」と「併設」について

- ・「単置」と呼ばれている学校は、「高等養護学校」あるいは「高等支援学校」を指します。
- ・手稲区周辺では、**北海道札幌高等養護学校、北海道札幌稲穂高等支援学校、北海道小樽高等支援学校、北海道札幌あいの里高等支援学校**があります。また札幌市立では、**市立札幌豊明高等支援学校、市立札幌みなみの杜高等支援学校**があります。
- ・「併設」と呼ばれている学校は、**知的障がい特別支援学校義務併設高等部**を指します。既存の養護学校に高等部が設置されたものです。
- ・札幌市内には**東に「札幌養護学校（白桜高等学園）」、中央に「札幌伏見支援学校」、西に「星置養護学校（ほしみ高等学園）」**の3校が設置されています。
- ・学科については
【普通科のみを設置する学校】
→ 普通科（普通学級 重複学級 訪問教育学級）
- ・本校は分校化しましたが、北海道星置養護学校の「併設校」です。
- ・本校は、受検対象者、設置学科は上記の学校と同じですが、

- | |
|--|
| 1 独立した校舎をもつ学校
2 普通科に「コース制」を導入している学校 |
|--|

という特色があります。

(2) こんな場合には？

- Q 1 「うちの子には、高等支援学校があっているのか、併設高等部やコース制のある学校があっているのか分かりません。どうしたらいいでしょう？」
- A 1 「本日のように、これから各校で学校説明会や教育相談が実施されます。学校を卒業した後の生活をイメージしながら、お子様、保護者の方が各校を実際に見て、聞いて、感じたうえで総合的に御検討ください。また疑問点はどんな些細なことでも各校の教育相談担当にお尋ねください。きっと解決の糸口が見えることと思います。」

2 募集学科



北海道立特別支援学校高等部の生徒募集については、北海道教育委員会公報「募集要項」公示（11月下旬頃）、「北海道立特別支援学校高等部（知的障害）生徒募集要領」（12月）に基づいて実施されます。

「道立特別支援学校高等部の在り方検討会議」から示された「新しい形の知的障がい特別支援学校高等部の在り方に関する報告」を踏まえ、令和2年度より新しい形の知的障がい特別支援学校高等部に移行しました。これに伴い、令和2年より「入学者選考検査」が改訂されました。

【北海道教育委員会公報 募集要項】

【令和4年度 北海道立特別支援学校高等部（知的障害）生徒募集要領】

【普通科：普通学級 / 重複学級 / 訪問教育学級】

(1) 普通科

普通学級

重複学級

訪問教育

①「普通科のみを設置する学校」の主な教育内容

→「障がいの程度が重い生徒を対象とする学科」より改訂

保護者や地域の人々等の支援をもとに可能な限り社会に参加するために必要な知識、技能、態度などの能力を養い、その習慣形成を目指している。身辺処理能力など、基本的な生活習慣の向上を図ることを中心とした指導を行う。

- 小中学部に併設された高等部
- 星置養護学校ほしみ高等学園（普通科コース制）
- 夕張高等養護学校（重複学級）

【令和3年度 北海道立特別支援学校高等部（知的障がい）生徒募集要領】より

※令和4年度より札幌養護学校白桜高等学園（普通科）が上記に加わります。

(2) 各学級の
対象生徒

①普通学級

主たる障がいが知的障がい、その他の顕著な障がいがない方。

②重複学級

主たる障がいが知的障がい、その他の障がいを併せ有する方。

③訪問教育

特別支援学校高等部の普通科（訪問教育）に出願する者にあつては、原則として特別支援学校中学部の訪問学級に在籍している生徒で、令和3年3月末日までに卒業見込みの者及び令和2年3月末日以前に特別支援学校中学部の訪問学級を卒業した者。

→令和3年度北海道立特別支援学校高等部（知的障害）訪問教育生徒募集要領より
令和4年度は生徒募集要領を確認してください。

(2) こんな場合は？

Q1「入学願書に記入した志望内容（普通学級・重複学級）は入学後に変更することはできますか？」

A1「入学後の学級編制は、志望内容＝普通学級・重複学級に基づいて行われますので、普通学級と重複学級間の移動はできません。

本校では、学級単位の学習に加え、学習のねらいや内容に応じてより効果的な学習集団の編制や指導体制の工夫・改善を行いながら授業を行っています。

また第2学年からはワークデザインコース、ライフデザインコースに分かれての学習や各コース内でさらに幾つかのグループに分かれての学習が始まります。」

3 募集定員

令和4年度の募集定員については「令和4年度公立特別支援学校配置計画案」（6月上旬発表）をご参照ください。

【普通学級＝1学級の定員は8名 重複学級＝1学級の定員は3名
教員配置は1学級に2名 訪問学級＝1学級の定員は3名】

(1) 今年度
令和3年度
の募集定員

今年度「令和3年度 公立特別支援学校配置計画」では、



①普通科	普通学級	5学級	定員40名
②普通科	重複学級	4学級	定員12名
③普通科	訪問学級	1学級	定員3名

となっています。

(2) こんな場合には？

Q1 「単置校と違い、どうして毎年人数が変わるのですか？」

A1 「併設の高等部やほしみ高等学園では、基本的にその学校の中学部3年生の数をもとに配置されているからです。
また本校では、中学校2年生で教育相談を実施し、中学校からの受検希望者数の把握に努めています。」

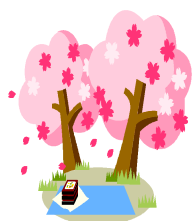
Q2 「1学級あたりの定員を教えてください。」

A2 「普通科 普通学級は1学級＝8名定員 重複学級は1学級＝3名の定員です。」

Q3 「募集定員に満たなかった場合はどうなりますか？」

A3 「その場合は第2次募集を2月に実施します。出願資格は基本的に第1次募集と同じですが、当初の入学募集において合格している方（合格者で入学しない旨の意思表示のあった方を含む）の出願は認められません。」

「また第2次募集の合格発表後、合格者の数が募集人員に達しない学校において、入学希望者（特別支援学校の第2次募集を受検した者）がある場合は、選考の上、入学させることができます。」



4 学級編制（令和3年度）

入学願書「志望内容」の「普通・重複学級」に基づきながら、総合的に検討を行い、学級編制をしています。

【入学願書】 【志望内容】 【普通・重複学級】

□ 令和3年度
1学年

令和3年度 1学年学級編制

1組	（普通学級）	6名
2組	（普通学級）	6名
3組	（普通学級）	7名
4組	（普通学級）	7名
5組	（重複学級）	3名
6組	（重複学級）	3名
7組	（重複学級）	3名
訪問学級		4名
合計		39名



学級、学年、全体等、各学習に応じ、学習グループを組織して活動しています

2年生から各コース・グループに分かれての学習が始まります。

5 通学区域

本校小・中学部の通学区域は次のとおりです。

【通学区域】 【小・中学部の通学区域】

(1) 通学区域

北海道星置養護学校小・中学部の通学区域は、次のとおりです。

●星置校舎

札幌市の西区、手稲区、北区

●石狩紅葉山校舎（小・中学部分教室）

石狩市（※浜益区を除く）、札幌市北区の一部

※ 北区の一部とは、創成川通りより東側の区域に西荻戸を加えた区域。

（あいの里、拓北、東荻戸、篠路、百合が原、太平、西荻戸）



※ 高等部においてはいわゆる「通学区域」というものではありません。本校のスクールバス運行路線において最も利用しやすいバス停を利用しながら、上記以外の地域から、本校に通学している生徒もいます。（中央区、東区、豊平区、白石区など）

(2) スクールバス

令和3年度は、ほしみ高等学園専用のスクールバスが5台運行しています。バス路線、バス停につきましては、学校からの距離や時間、バス停を利用する生徒数などを基に若干の調整をしています。

(3) こんな場合には？



Q1 「自宅は〇〇区なのですが、受検は可能ですか？」

A1 「基本的に受検は可能ですが、〇〇区は◇◇養護学校小中学部の通学区域となっています。まずは自宅からお近くの◇◇養護学校で教育相談を受けられると良いかと思います。その後本校の学校見学、教育相談を希望される方は学校を通して御連絡ください。」

Q2 「自主通学をしている生徒がいると聞いたのですが・・・。」

A2 「保護者の方の見守りのもと、1週間程度の練習をしていただき、安全面や困った時の対処（連絡等）が可能な方は、校内の会議を経て自主通学が認められます。（入学式より1ヶ月程度は登下校の送迎に保護者または事業所などの付添をお願いします。）今年度は24名が、御自宅から徒歩、あるいは公共の交通機関を利用して本校のスクールバスのバス停まで通っています。」

Q3 「自宅が遠いので、寄宿舍に入舎したいのですが・・・。」

A3 「ほしみ高等学園に寄宿舍は設置されていません。」

Q4 「星置養護学校の寄宿舍を利用できると聞いたのですが・・・。」

A4 「星置養護学校の寄宿舍を利用する「体験入舎」については令和2年度より新型コロナウイルスの感染防止対策として中止になりました。再開のめどはたっていません。」

「令和3年度は星置養護学校（小・中学部）の寄宿舍の入舎基準（寄宿舍入退舎規程）の「入舎は星置養護学校の通学区域内において通学が困難な地域の場合とする」に該当している中学部の生徒が1名入舎しています。」

6 出願方法・検査日・選考方法等



「令和4年度北海道立特別支援学校高等部（知的障害）生徒募集要領」を御確認ください。（12月初旬頃）

【令和4年度北海道立特別支援学校高等部（知的障害）生徒募集要領】

(1) 出願方法	①出願期間 令和3年度の入学者選考検査では、令和3年1月6日（水）から1月13日（水）正午までとなっていました。 ②出願書類 入学願書 / 個人調査書 / 受検票の（2）
(2) 検査日	①検査日 北海道教育委員会公報（令和3年3月24日）によると令和4年1月28日（金）を予定しています。願書を受理し、受検票を中学校へ送付する際に受検者の検査時間をお知らせします。
(3) 選考方法	①令和3年度の入学者選考検査では、学習状況検査及び個人調査書を総合的に評価し、選考しました。令和4年度については北海道教育委員会からの発表をお待ちください。

7 教育相談



本校への入学を希望されている方や併設高等部と高等支援学校のいずれかの進学を希望されている方を対象に教育相談を実施しています。本校においては原則として、**中学2年生の方を教育相談の対象**とさせていただきます。

また進学に係わって、学習上、生活上困っていること等の御相談にも応じております。

（※ 再度の相談や授業見学の希望がある方には、中3に進級後も受付をしております。）

【中学2年生】 【教育相談】 【再度の教育相談】

(1) 期 間	教育相談は、次の日程で行います。事前に在籍校を通じて電話等で御連絡ください。手続きについては本校ホームページを御参照ください。
(2) こんな場合には？	6月1日（火） ～ 11月30日（火） Q1 「教育相談はどんな目的で行われるのですか？」 A1 「教育相談は、一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育が受けられる学校を選択していただくことを目的として実施しています。本校ではこのことを踏まえ、 ①教育相談の生徒の実態を把握 ②ほしみ高等学園の概要（教育内容や学校生活の状況等）説明 ③進路に関わる情報（単置校の教育課程、入選等）の提供 ④その他（指導・支援に関する相談等） 等の内容で、相談を実施しております。」 Q2 「教育相談には子供も連れて行った方がいいのでしょうか？」 A2 「はい。短時間ではありますが、私たちも実際にお子様とふれあいながら、発達の状況を把握させていただくことができますし、何よりもお子様が実際に本校の学習環境を事前に見学することは、後々プラスになるものと考えます。」

Q3 「教育相談時に必要な物はありますか？」

A3 「本校ホームページから「教育相談記録票（中学校の担任用・教育相談保護者用）」をダウンロードし、教育相談前に郵送で提出してください。」

Q4 「新型コロナウイルス感染防止対策で協力することはありますか？」

A4 「来校日の検温をお願いしております。平熱よりも体温が高い場合、風邪症状がある場合は教育相談を中止し、延期しますので担当者まで御連絡ください。来校の際にはマスクの着用と上靴、スリッパの御持参をお願いしています。また、玄関でのアルコールによる手指の消毒にも御協力をお願いしています。」

8 その他：学校生活に関わること



入学後に必要となる諸経費、学校生活全般に関わることをまとめてみました。

【就学奨励費】【学習費】【社会体験学習費】【見学旅行積立金】
【はぐくむ会】【制服・ジャージ】

（１）諸経費について

① 在校教育、訪問教育共通

ア 義務教育校（中学部、中学校）に準じて就学奨励費の対象になります。

イ PTA会費が前期・後期それぞれ1,500円（年間3,000円）必要です。

ウ 学習費が前期・後期それぞれ10,000円（年間20,000円）必要です。（一部、就学奨励費対象になります。訪問教育は3,000円）

※ 学習費は、作業学習、職業の原材料・教材に使用する作業費、調理学習や美術等の材料、課題学習に使用する教材費、公共の交通機関を利用して実施する「社会体験学習」の交通費、施設利用料、昼食費、買物学習費などにあてられます。

エ 第2学年で「宿泊研修」を実施しています。経費は2万円程度です。令和3年度まで新型コロナウイルスの感染症対応として中止しています。

オ 第3学年で、見学旅行を実施しています。経費は10～14万円程度かかります。なお、学校での積立は実施しておりません。令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症対応として道内に目的地を変更して実施します。

② その他の経費

ア はぐくむ会会費として、年間3,600円徴収されます。（訪問教育は、年間1,000円）

※ 「はぐくむ会」とは、本校の生徒の進路や卒業後に関わる指導や支援を行うことを目的として、星置養護学校およびほしみ高等学園に在籍する児童生徒の保護者が自主的に組織した会です。

（２）その他

① 制服について

ほしみ高等学園では指定の「制服」を採用しています。（トンボ学生服）日々の着替えを通して、時、場所、状況に応じた服装ができるように指導します。〈費用：32,000円程度〉

なお制服は、一定程度の個別対応（アレルギー、脱ぎ着のしやすさ）も可能となっています。女子についてはスカート、スラックスを選択できます。

新型コロナウイルス感染症防止対策として、私服及び指定ジャージでの登下校を推奨しています。令和３年度は儀式的行事の際に着用する機会を設定しています。

②ジャージについて

指定ジャージを採用しました。(ヨネックス 上下、ハーフパンツ) 令和元年度入学生より新デザインとなりました。生徒が学習集団を理解しやすいよう、学年別のカラーとしました。

〈費用：１１，０００円程度〉

③作業服

指定のものはありませんが、推奨品として、制服納入業者で扱っているものを御紹介しています。現在、大半の生徒は推奨品の作業服を着用して学習しています。

〈費用：６，０００円程度〉

④採寸

上記の制服類の採寸は、受検当日に本校での実施を予定しています。

入選に関しまして、御不明な点等、ございましたらいつでも次の担当までお問い合わせください。



《連絡先》 北海道星置養護学校ほしみ高等学園

(担当：加藤・野村)

(TEL) 011-681-6500 (内線202)

(FAX) 011-681-6511